



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 鶴川 裕光

(TEL) 042-(772)-5231

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	15,338	△14.1	1,266	△39.6	1,378	△41.3	988	△35.7
28年3月期第1四半期	17,857	4.0	2,097	15.5	2,347	28.9	1,536	19.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,079百万円( -%) 28年3月期第1四半期 2,202百万円( 34.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第1四半期	16	03	15	99
28年3月期第1四半期	24	94	24	86

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
29年3月期第1四半期	94,568		65,727		69.3	1,063	34	
28年3月期	100,609		68,758		68.2	1,112	51	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 65,581百万円 28年3月期 68,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
28年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	—	—	30.00	30.00	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期配当金の内訳 普通配当 30円00銭 創業100周年記念配当 10円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	32,000	△14.6	2,900	△31.5	3,000	△40.7	2,100	△38.0	34	05
通期	70,000	△7.3	6,500	△19.1	6,600	△21.1	4,600	△20.5	74	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	73,647,321株	28年3月期	73,647,321株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	11,971,943株	28年3月期	11,973,276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	61,675,049株	28年3月期1Q	61,623,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
受注の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済については、中国等の新興国経済の低迷が続く中、米州や欧州を中心に先進国経済が堅調に推移し全体としては緩やかな回復を迎いましたが、昨今の英国のEU離脱問題や先進国経済の減速懸念等により、先行きの不透明感が強まっています。国内経済については、国内消費が依然として力強さを欠くとともに、海外経済の減速のあおりで外需も伸び悩んでおり、さらに、年初からの円高進行により下振れリスクが一層拡大している状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内・海外向けの受注が減少し、当第1四半期連結累計期間の受注は前年同期比34.3%減の29,241百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループは平成27年連結会計年度より開始した中期経営計画の最終年度を迎え、「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として深化・追求する」というビジョンのもと、①更なる事業拡大を実現する基盤の構築、②グローバル市場におけるトップブランドの確立、③素形材成形の新技术追求、という3つの重要指針を掲げ、事業基盤の強化と収益拡大に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間においても、人財強化や生産能力向上等、事業基盤強化に努めるとともに、販売・サービスの面ではグループ各社がグローバルに連携し、受注獲得に傾注してまいりました。

このような中、当第1四半期連結累計期間の受注高は、国内・海外共に減少し、9,246百万円（前年同期比61.7%減）となり、受注残高は45,786百万円（同21.4%減）となりました。売上高は、自動車関連向けを中心に欧州が伸びたものの、他地域での落ち込みと円高による海外売上高の円貨換算額の目減りの影響で、前年同期比14.1%減の15,338百万円となりました。利益面では、減収と円高の影響で営業利益が1,266百万円（同39.6%減）となり、経常利益は前年度に円安の影響で計上した為替差益が剥落したことにより1,378百万円（同41.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は988百万円（同35.7%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

- 日 本： 自動車関連向け中・大型プレス機の売上が減少し、売上高は8,765百万円（前年同期比17.2%減）となり、セグメント利益は減収の影響で508百万円（同46.4%減）となりました。
- アジア： 主に東南アジア市場の低迷により、売上高は3,853百万円（前年同期比31.0%減）となり、セグメント利益は減収等の影響により265百万円（同59.9%減）となりました。
- 米 州： 日系自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上減少や円高等の影響により、売上高は4,317百万円（前年同期比20.4%減）となり、セグメント利益は減収等の影響により313百万円（同29.6%減）となりました。
- 欧 州： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上やサービス売上の増加により、売上高は3,453百万円（前年同期比19.6%増）となり、セグメント利益は増収や販管費減少等により63百万円（同1,556.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べて6,041百万円減少し、94,568百万円となりました。主な要因は、配当金支払等による現金及び預金の減少2,745百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の減少1,730百万円であります。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて3,010百万円減少し、28,841百万円となりました。主な要因は、前受金の減少1,067百万円、未払法人税等の減少695百万円、賞与引当金の減少525百万円であります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,031百万円減少し、65,727百万円となりました。主な要因は、期末配当等に伴う利益剰余金の減少963百万円、為替換算調整勘定の減少2,037百万円であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の売上高につきましては、当初見込んでいた大口受注の失注、既受注案件の納期ずれ込み、円高による海外売上円貨換算目減り等により、平成28年5月12日に公表いたしました前回予想を下回る見込みです。加えて、減収や基盤構築に関わるコスト負担等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益についても、前回発表予想を下回る見込みとなることから、業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、1株当たり配当金については前回予想より変更はありません。

業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドルは108円から105円、1ユーロは124円から117円に変更しております。

平成29年3月期第2四半期（累計） 連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	40,000	4,000	4,100	3,000	48.64
今回修正予想（B）	32,000	2,900	3,000	2,100	34.05
増減額（B－A）	△8,000	△1,100	△900	△900	—
増減率（％）	△20.0	△27.5	△22.0	△30.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成28年3月期第2四半期）	37,468	4,233	5,055	3,386	54.94

平成29年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	80,000	8,100	8,200	5,900	95.66
今回修正予想（B）	70,000	6,500	6,600	4,600	74.57
増減額（B－A）	△10,000	△1,600	△1,600	△1,300	—
増減率（％）	△12.5	△19.8	△19.5	△22.0	—
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	75,529	8,037	8,364	5,782	93.78

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,529	19,784
受取手形及び売掛金	20,105	17,643
電子記録債権	397	1,129
有価証券	7,200	7,200
製品	1,473	1,276
仕掛品	9,332	9,441
原材料及び貯蔵品	2,624	2,797
繰延税金資産	1,049	758
その他	4,376	4,293
貸倒引当金	△186	△169
流動資産合計	68,903	64,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,650	21,213
減価償却累計額	△14,061	△14,011
建物及び構築物（純額）	7,589	7,202
機械装置及び運搬具	14,096	13,629
減価償却累計額	△7,492	△7,383
機械装置及び運搬具（純額）	6,604	6,246
土地	5,062	5,019
建設仮勘定	779	685
その他	2,798	2,645
減価償却累計額	△2,177	△2,095
その他（純額）	620	550
有形固定資産合計	20,656	19,704
無形固定資産	984	904
投資その他の資産		
投資有価証券	5,802	5,386
保険積立金	3,390	3,407
退職給付に係る資産	435	460
繰延税金資産	155	127
その他	308	446
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	10,064	9,801
固定資産合計	31,705	30,410
資産合計	100,609	94,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,882	6,852
電子記録債務	1,828	2,185
短期借入金	3,163	2,836
未払金	1,070	644
未払法人税等	1,235	540
前受金	7,738	6,671
製品保証引当金	1,081	982
賞与引当金	1,117	591
役員賞与引当金	60	20
受注損失引当金	161	123
圧縮未決算特別勘定	126	126
その他	2,473	2,362
流動負債合計	26,940	23,937
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
長期未払金	496	594
繰延税金負債	2,261	2,171
株式給付引当金	238	247
退職給付に係る負債	99	106
その他	314	283
固定負債合計	4,911	4,903
負債合計	31,851	28,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,416	12,416
利益剰余金	48,783	47,819
自己株式	△5,166	△5,166
株主資本合計	63,864	62,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,043	2,739
繰延ヘッジ損益	159	434
為替換算調整勘定	1,211	△825
退職給付に係る調整累計額	333	332
その他の包括利益累計額合計	4,748	2,680
新株予約権	145	145
純資産合計	68,758	65,727
負債純資産合計	100,609	94,568

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	17,857	15,338
売上原価	13,435	11,784
売上総利益	4,421	3,553
販売費及び一般管理費	2,323	2,287
営業利益	2,097	1,266
営業外収益		
受取利息	25	15
受取配当金	77	73
為替差益	156	13
その他	20	27
営業外収益合計	279	130
営業外費用		
支払利息	6	9
その他	23	8
営業外費用合計	30	18
経常利益	2,347	1,378
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,347	1,377
法人税、住民税及び事業税	435	158
法人税等調整額	374	230
法人税等合計	810	389
四半期純利益	1,536	988
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,536	988



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	1,536	988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	△304
繰延ヘッジ損益	33	274
為替換算調整勘定	313	△2,037
退職給付に係る調整額	△5	△1
その他の包括利益合計	665	△2,067
四半期包括利益	2,202	△1,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,202	△1,079

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,481	4,550	5,108	2,716	17,857	—	17,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,103	1,036	312	171	6,623	△6,623	—
計	10,584	5,587	5,420	2,888	24,480	△6,623	17,857
セグメント利益	948	662	445	3	2,060	36	2,097

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,410	3,263	4,279	3,385	15,338	—	15,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,354	589	38	68	5,051	△5,051	—
計	8,765	3,853	4,317	3,453	20,389	△5,051	15,338
セグメント利益	508	265	313	63	1,151	114	1,266

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## 受注の状況

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	4,221	△57.7	18,147	△14.7
アジア	1,534	△61.1	7,386	△40.9
米州	2,370	△57.1	10,162	△17.4
欧州	1,120	△76.2	10,089	△17.0
合計	9,246	△61.7	45,786	△21.4

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。